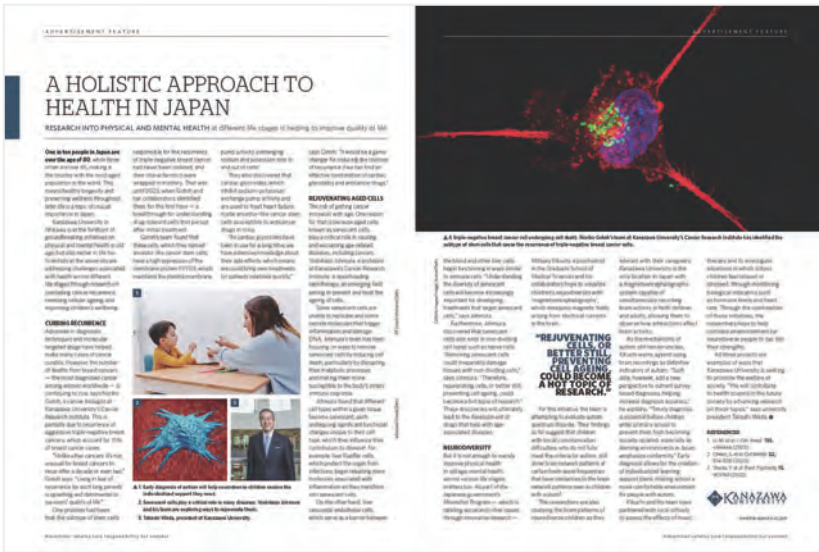


金沢大学のさまざまな教育研究活動は、多様なメディア、
ランキングに取り上げられています。



英国科学誌「Nature」
14 March 2024号
Health sciences特集



(株)ジャパントイズ
December 16, 2023
ASEAN-Japan 50th
anniversary special号



金沢大学角間キャンパスにて

nature

英国科学誌「Nature」

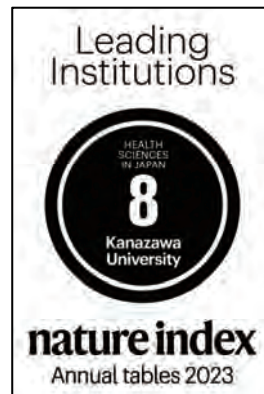
9 March 2023号特集

「Nature Index Japan」

紹介大学: 本学を含む9大学(東京大学 等)

国内大学として**総合13位**にランクイン。

分野別: **Health Sciences 8位**、
Earth and Environment Sciences 10位



「TIME」Asia Edition, December 26/2022 &
January 9/2023号, Online版12月26日掲載

日本経済新聞
日経HR

「人事が見る大学イメージ
ランキング(R5.6)」
全国総合ランキング **12位**

日経BPコンサルティング
CCL

2023年12月12日
学長インタビュー、大学紹介

Y-SAPIX

JOURNAL vol.66
大学歴訪録 #54



金沢大学は、全学をあげて令和6年能登半島地震の被災者・被災地支援に取り組んでいます。

金沢大学は、発災直後に災害対策本部を設置し、学生・教職員・患者様の安否確認や被害状況の確認を開始しました。角間キャンパス、宝町・鶴間キャンパス、金沢大学附属病院、附属学校園をはじめとする、能登地域以外の拠点においては、建物は安全な使用が可能な状態であり、大学入学共通テストや教育・研究活動、診療を継続することができました。また、附属病院の災害派遣医療チームの出動に加え、地震学や地質学、考古学にいたるまで、さまざまな分野の研究者が、現地での調査開始へと動き出しました。

さらに、中長期的視点から、能登における教育、医療、文化、産業の復興・再生そして継続的發展を強力に推進するため、「能登里山里海未来創造センター」を1月30日に設置しました。

本学は、引き続き地域・自治体・企業と連携しながら、被災地の復旧・復興に取り組んでいきます。



発災以降、災害対策本部会議を随時開催



文部科学大臣と学長による意見交換



学生・教職員による被災地でのボランティア活動



避難している中高生へ対して、本学学生による学びの支援



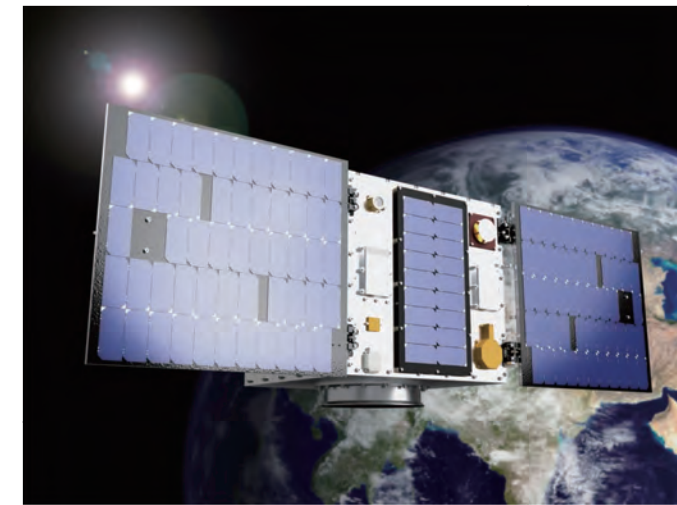
附属病院のDMATは発災直後に医療支援活動を始動



能登里山里海未来創造センターによる報告会を定期開催

金沢大学開発衛星「こよう」打ち上げ・地上交信成功！

2023年12月2日、本学学生が中心となって開発したX線突発天体監視速報衛星「こよう」が米国SpaceX社のFalcon9で打ち上げられ、通信系データの送受信が確認されました。「こよう」は、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の革新的衛星技術実証3号機の実証テーマとして選定されています。



「こよう」(金沢大学衛星1号機)イメージ図

金沢大学のプロジェクトがユネスコ／日本ESD賞受賞

Mammadova Aida准教授が推進する「日本のユネスコ生物圏保存地域(ユネスコエコパーク)およびジオパーク内の遠隔地域活性化を目的とした世代間学習」事業がユネスコ／日本ESD賞を受賞しました。日本の機関・団体が受賞するのは、賞の創設以来、2件目となります。



パリで開催された授賞式でスピーチする塩川理事

秋篠宮皇嗣妃殿下が金沢大学にお成りになりました

4月26日、秋篠宮皇嗣妃殿下が金沢大学にお成りになりました。令和6年能登半島地震で被災した子どもたちの学習支援に携わった学生ボランティアや、医療支援活動を行った医療スタッフとご懇談され、被災地の復興に向けた取り組みや、被災者支援について熱心に耳を傾けておられました。



妃殿下と学修支援ボランティア外政とのご懇談

医学類旧書庫など5件の建物登録有形文化財に登録

国の文化審議会において、医学類旧書庫、医学類解剖標本庫、医学類病理標本庫、医学類西面南旧正門および煉瓦塀、医学類西面北煉瓦塀の5件が「国土の歴史的景観に寄与しているもの」の基準を満たすと審議・議決を経て、文部科学大臣に登録有形文化財として登録されました。



大正15年に建設された医学類旧書庫